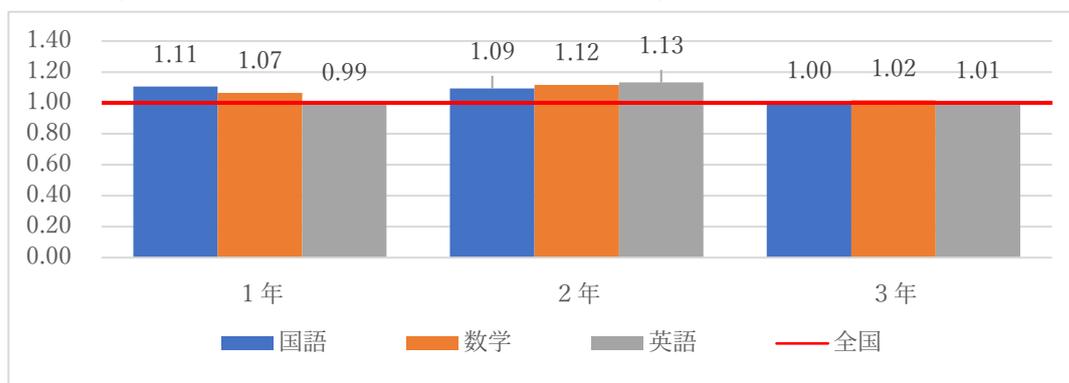


令和5年度 全国学力・学習状況調査及び学習到達度調査について

第六中学校区 第六中学校

○調査結果（全国平均を1とした場合の平均正答率の比）



※中学1・2年生は学習到達度調査、中学3年生は全国学力・学習状況調査の結果

○調査結果についての分析、今後の改善方策

学習到達度調査	国語	1・2年生ともに、ほぼすべての領域において全国平均を上回った。引き続き、根拠に基づいて自分の意見や考えをもつことができるよう、教科横断的な指導に取り組んでいく。
	数学	1・2年生ともに、ほぼすべての領域において全国平均を上回った。引き続き、少人数授業によるきめ細かな指導を行い、学力向上を図る。
	英語	1年生に関しては僅かに全国平均を下回ったが、2年生に関しては大きく全国平均を上回った。単語の意味理解に課題があり、少人数授業や補充学習などにより、基礎的な部分を強化していく。
全国学力・学習状況調査	国語	昨年度の到達度調査から向上し、全国平均を上回った。一方、「話すこと・聞くこと」領域に課題が残るため、ディベート学習を中心に克服に向けた授業展開をしていく。
	数学	昨年度の到達度調査から向上し、ほぼすべての領域において全国平均を上回った。一方、「関数」領域に課題が残るため、演習の時間を設け、繰り返し基礎基本の定着を図るなど、克服に向けた授業づくりに努める。
	英語	昨年度の到達度調査から向上し、全国平均を上回った。昨年度からの課題である知識・技能の部分において、改善傾向にあることが要因と考えられる。
	質問紙	「授業の内容はよく分かりますか」の質問において、肯定的な回答割合がすべての教科で全国平均を上回った。引き続き、授業力向上のための取組を学校全体で講じていく。

○学力向上の取組

【 中学校区 】

各種調査の結果を踏まえ、小中連携会議において課題の共有と対応策の構築を図っている。また、中学校教師による小学校への出前授業など、中学校区3校で連携した取組を行い、引き続き、小中学校の学習体制の段差を解消し、小中一貫教育の強化を図っていく。

【 学 校 】

ディベート学習をはじめ、各教科において話し合いや発表の場を適宜入れ、「考える力」を育成している。教職員の授業改善により、「主体的、対話的で深い学び」を追求した授業づくりを実践するとともに、数学・英語の少人数授業の展開や、放課後勉強会などによる基礎的な知識・技能の定着を図っている。